

心を豊かに

人間を中心は心である心を安らかに保つ
豊かに保つそれが自由自在のめぐみとなる
幸せがほいならまず心を豊かにしよう

三つの力

自分自身の力が、他人の感謝・信頼・協力が、
ついでに天地の恵みよ、運命の守りが、この三つの
力に守られていく生活が一番安心である。

春待つ心

冬来りなば春遠からじ

逆境に落ちた時　そこから抜け出ようとあせる
しかりそれは先決ではない運命はふくがくても
心までふさいではならない　どこまでも春待つ心を
失わないこれが運命打用の第一歩である

姿なき大地

この世は姿なき大地である

運命の種をまきつけてゆく大地であるわれわれの
心の持ち方行ない言葉の使い方によつて人の
心にいろいろな種をまきつける

仕事の最大の目的は

人間を鍛錬してもらおうことだよ

長生きの秘訣

嫌な人いやな事いやな所 それはなまるべくさけ
たいしかりそうわがままはいそいられないだから私た
ちはそのいやな事いやな人と組み合わされた天命
運命の意味をよく読んで心を明るく広げて気
を軽くすることが長生きの秘訣である

心にゆとりを

無理に肩をはる生き方は疲れる
疲れたら大切な時に自由な働きは出来ない
なんといっても自分自身の心にゆとりを貯えることが大切である

大安心の心

ひると夜明るきと暗き 男と女陰と陽 生と死
すべて大調和の中に入れわれは生きている 目の前のこと
であわててはならない 大安心の心でひたすら人事を
つくすのみである ここに本当の平和がおどり出る

一日の光を見ず一尺の空を見ず

根は伸びるものの台となる

不運をさける道

不幸を嫌って逃げられるものなら誰しも逃げ
回るいかに逃げてても自分から自分は逃げ出せない
結局自分の本質をみがき徳をつんで魂に滋養
を与える以外に不運をさける道はない

徳を積む

まず縁のある人たちのために自分をこころげ
喜んでもらうことだねそのことのつみ重ねが
徳になるんだよ

光る人格

相手を伸ばすためにはまけてもやる時には叱りも
するしかし常に相手の成長を祈るゆとりを失そ
はならないそこに段違いの人格が光ってくる

赤信号

病いは人生の赤信号である身のまわりに危険が迫つたことを教えられているのである止まって静かに考へる時であるいままでの心の持ち方考へ方を反省すべき時である

止まれ進むなと命じる赤信号は敵ではない

会社を守る

お得意様と社員をしつかり守るその結果
自分の会社は自分が守らなくともお得意
様と社員がしつかり守ってくれるよ

勞^{らう}少くして、晒^{あたい}の多いことは
恐ろしいことである。それは
心の光を失うからである。

この世に「なぜ？」、「はて？」と「思うよりどうかな
不幸にみまわれた時 それは自分の人生が
自分の生き方が中心から遠ざかっていることを
まず悟らなければいけない
右が我が身我が家我が子我がためならば
左が世のため人のための親のため恩人のためどちらに
も傾かない中心が尊い

心の力

心の力が失われて行くところとちよつとしたことにすら
つらい苦しいと思つてやうになるなまげなといひ
悲しいと思つてこれと反対に心豊かな強い信念の人
にこそは何でも一切のことが有り難くおもしろく勇
んで迎えられるやうになる

神様は人が気嫌の良しめが好きである
神に好かれる人間になることが運命を良く
する道である道理がわかって気嫌がいい
これが一番いらいらくよくよほらほらこれは
運命を暗くする

気は配るもの

気は八方に配れば安心と落着きが生まれる
日頃なまけている人は大切な時に気をもむ
気は配るものであるもむものではない

なんでもなるほどく〜と感心する
癖くせをつけなさい

(貴方の立場にたてば腹も立つだらうが
向こうの立場にたてばなるほどなあとおね)

人間は死ぬまで生きていればいい

それは大体 おおすい 大筋できまっています

ではこの世に何をしに生まれてきたか

それは体の使い方 心の使い方 物の使い方 金の使い方
それを学びにきた 特に心の使い方が重要である

神を掴む

城をとるといふことは城の中に完全に入つてしまふことである神を掴むといふことは神に掴まれることから始まるなにか表れて来ても天命であるそれを樂しむ命これ尊しとなのくより副うこれが神の心を掴む生き方である

重荷をたのしむ

重荷をひき受けている柱は邪魔になっても取り除けないがにも重荷のかかていない障子は強風に吹き飛ばされる。人間は自ら進んで人を守り自ら重荷をたのしむことが自らの運命を強める道である。

一人ひとりは弱い 人生は短く

夢のような一生である 生かされ育て
られている

だからどんなことがあるてもまず助けあえ
生か—あえ

大自然のそばき

取り込む奪い合う出し惜しむこれは一時は
栄えるかもしれないしかし必ずやり戻しがある
不幸不運にまかれる長い目で見れば
そこには大自然のそばきがある自由自在の
幸せは出し切る生活からのみ生れる

なんでもたのしくながめよう
おもしろい言葉が出るような
そんな人間になりなさい

自分をかえろ

やさしい人と同居する 嫌な人と同じ取場で働いているこんな場合 相手をかえようと 思いやすい しかしまず 自分をかえることである その結果として 相手の方が願わずともかわる これが 尊い幸せへの道である

人間は色々なことを学んだ

月へ行く方法も科学技術を応用する
方法も電子機械をつくる方法も
けれど只一つ運命をよくする方法を知らない
自分がかつたただけ運命もかわるよ

不幸災難 逆境にであつた時

それが運命的なものが自分のわがままから
くるものか、まずそのどちらかを悟りなさい

人生というのはね 雨がふたら 傘をさして
歩けばいいんだよ そろそろいふことなんだよ
それを雨は冷たいだの 寒いだのぬれるから
やだの それをいふからいかん

守られる道

自分を本当に守る道は利己主義ではない
我を忘れて他を守る奉仕の心それでこそ自分も
四方の人々から大切にされる守ってもらえる道になる